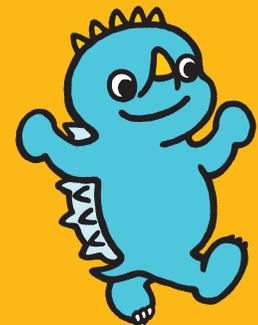
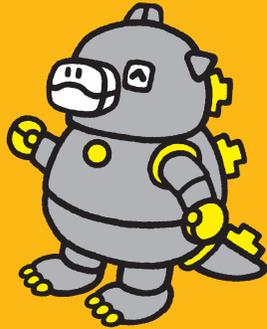
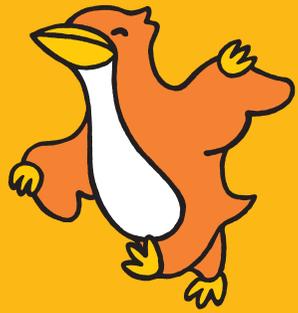


CSR REPORT



2020

創業者・小林一三



創業者・小林一三は、現在の阪急電鉄の礎を築き、世界初の駅直結型デパートの阪急百貨店や宝塚歌劇団など、新たなライフスタイル提案やエンタテインメントまで、多くのお客様が心豊かに暮らせるための事業を次々と生み出し、成功させていきました。

そして1932年、小林一三は東京・日比谷に進出し、東宝の前身の「株式会社東京宝塚劇場」を設立しました。
 「朗らかに、清く正しく美しく、これをモットーとする我党の芸術は即ち高尚なる娯楽本位に基づくところの国民劇である」
 「大劇場をつくり、その大劇場によって初めて実現できる国民劇の育成」
 小林一三には、長年抱いていた「大衆娯楽の提供」という強い思いがあり、東京進出は悲願達成への第一歩となりました。

映画・演劇の大衆娯楽を通じて、お客様の幸福に寄与していきたい——

小林一三の起こしたいくつもの事業。
 その本質は「大衆本位」であり、「お客様本位」とも言えます。
 私たち東宝グループは、創業者の理念をしっかりと受け継ぎ、常に「お客様の幸福のために」という精神を根底に据え、日々の事業活動に取り組んでいます。

東宝グループに今なお息づく、創業者の理念と精神

価値観

Values

吾々の享^うくる幸福は お客様の賜ものなり

東宝グループの事業は、お客様の「幸福」のためにあると同時に、会社の繁栄や従業員の生活の安定も、すべてはお客様からのご支持によるものです。そのことに常に感謝の気持ちを忘れず、より多くのお客様に夢や感動、喜びをお届けしたいと考えます。

使命

Mission

健全な娯楽を 広く大衆に提供すること

創業者・小林一三は「事業の基礎を大衆に置く」と言いました。東宝グループはその精神を継承し、映画・演劇を核とした健全なエンタテインメントを「多くの幅広い層のお客様」に提供することを企業の使命と考えます。

行動の理念

Motto

朗らかに、 清く正しく美しく

創業88年を迎えた現在も、このモットーは東宝グループの従業員に脈々と息づいています。東宝人はいかなる状況にあっても、人間として明るく、公明正大に事業に取り組み、お客様に健全な娯楽をお届けします。



CONTENTS

目次

- 01 創業者・小林一三
- 03 トップ・メッセージ
- 04 東宝グループのCSR方針
- 05 コロナ禍における東宝グループ
- 09 エンタテインメント
- 18 環境・社会
- 25 多様性とひと
- 32 コーポレート・ガバナンス

会社概要

東宝株式会社 [英語名：TOHO CO., LTD.]

設立：1932年8月

資本金：10,355,847,788円

代表者：代表取締役社長 島谷 能成

従業員：当社単体 369人

グループ 3,257人

※2020年2月29日現在

所在地：東京都千代田区有楽町1丁目2番2号

連結売上高：262,766百万円(2020年2月期)

事業内容：映画製作・配給・興行、演劇製作・興行の事業を新宿東宝ビル・日比谷シャンテなどの不動産事業が堅実に支え、アニメ製作やDVD・Blu-rayソフトの制作・販売、シネマコンプレックス網の拡充にも力を注ぎ、幅広いお客様にエンタテインメントを提供しています。

未曾有の危機をエンタテインメントの力で乗り越えていく——

新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、世の中の価値観が大きく変わろうとしています。しかし、どんな困難な状況であっても、私たちは、お客様の安心・安全を最優先に、“健全な娯楽”の持続的な提供に努めてまいります。これからもエンタテインメントを通じて、お客様の心に豊かな「夢」と「感動」の花を咲かせます。

2020年は「感染症との戦い」という、我々にとっても経験したことのない未曾有の事態が発生しました。一時的とはいえ、映画館・演劇劇場の営業を全て休止することとなり、お客様には大変なご心配をおかけいたしました。

現在では、映画館や演劇劇場も営業を再開し、徐々に日常を取り戻し始めていますが、社会が“新常态”となった今、エンタテインメントの価値は以前にもまして高まっていると感じます。我々は、危機管理の意識を高め、皆様に快適な環境でお迎えするべく、さらなる安心・安全を追求してまいります。また同時に、この大変な危機を変革の好機ととらえ、お客様の多様なニーズに応え、持続的な成長を目指してまいります。

東宝グループのCSRは、「吾々の享くる幸福はお客様の賜ものなり」という、創業者・小林一三の精神に凝縮されていると考えています。つまり、映画・演劇事業における作品の提供、不動産事業における街づくりなど、エンタテインメントを中心とした事業活動を通じて、お客様の心に夢と感動、驚きや喜び、元気をお届けすることです。これこそが、たとえ「with コロナ」の時代であっても揺るがない、東宝グループの根本的な社会的使命であり、責任であると考えています。

これからも私たちは、「朗らかに、清く正しく美しく」をモットーに、お客様をはじめ、株主様、投資家の皆様、地域社会、お取引先、従業員といったすべてのステークホルダーの皆様と共存共栄し、社会の持続的な発展に寄与していきたいと考えています。

今後とも、東宝グループにより一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

東宝株式会社 代表取締役社長
島谷 能成



私たちは映画・演劇・不動産の事業活動を通じて、CSRを推進していきます

— 創業者・小林一三の精神に凝縮された東宝のCSR方針 —

東宝グループは、「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」を企業の使命 (mission) として掲げています。私たちが提供する「映画・演劇・不動産」の各事業を通じて、夢や感動そして喜びをお客様にお届けし、あらゆる方楽しんでいただく本業そのものが、当社グループのCSR 方針であると考えています。東宝グループは、創業者・小林一三の言葉「吾々の享くる幸福はお客様の賜ものなり」「朗らかに、清く正しく美しく」という理念のもと、社会的責任を果たし、企業価値の向上に努めてまいります。

CSRとは

CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)は、社会から信頼されるモラルある企業をつくるための持続可能なマネジメント手法です。東宝グループは、お客様はもちろん株主様、投資家の皆様、地域社会、お取引先、従業員など、さまざまなステークホルダーからの信頼を得ながら、社会とともに発展していきたいと考えています。

ESGとは

環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字を取ったものです。近年、企業の持続的成長のためにはESGが示す、3つの観点が必要だという考え方が世界的に広がっています。当レポートでは、ESGを意識した価値創造を目指すために、東宝グループのコーポレート・ガバナンスのもと、「エンタテインメント」「環境・社会」「多様性とひと」の3つの視点から、CSR活動をご報告します。

SDGsとは



SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、国連加盟国に適用される2030年までの普遍的な国際開発目標です。2015年9月にニューヨーク国連本部にて開催された「国連持続可能な開発サミット」で採択され、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

私たちも人の心を豊かにするエンタテインメント企業の一員として、SDGsの趣旨に賛同し、当社のCSR方針のもと、目標達成に貢献することを目指します。

東宝が重視する コーポレート・ガバナンスと3つの視点

— ESGとSDGsを意識した持続可能な価値創造を目指します —

コーポレート・ガバナンス

信頼される企業であり続けるために—

エンタテインメント

- 幅広いラインナップ
- 東宝の演劇文化
- あらゆる人楽しんでいただくために
- かけがえのない「文化財」を未来へ
- IP(知的財産)を活用した社会貢献の取り組み

環境・社会

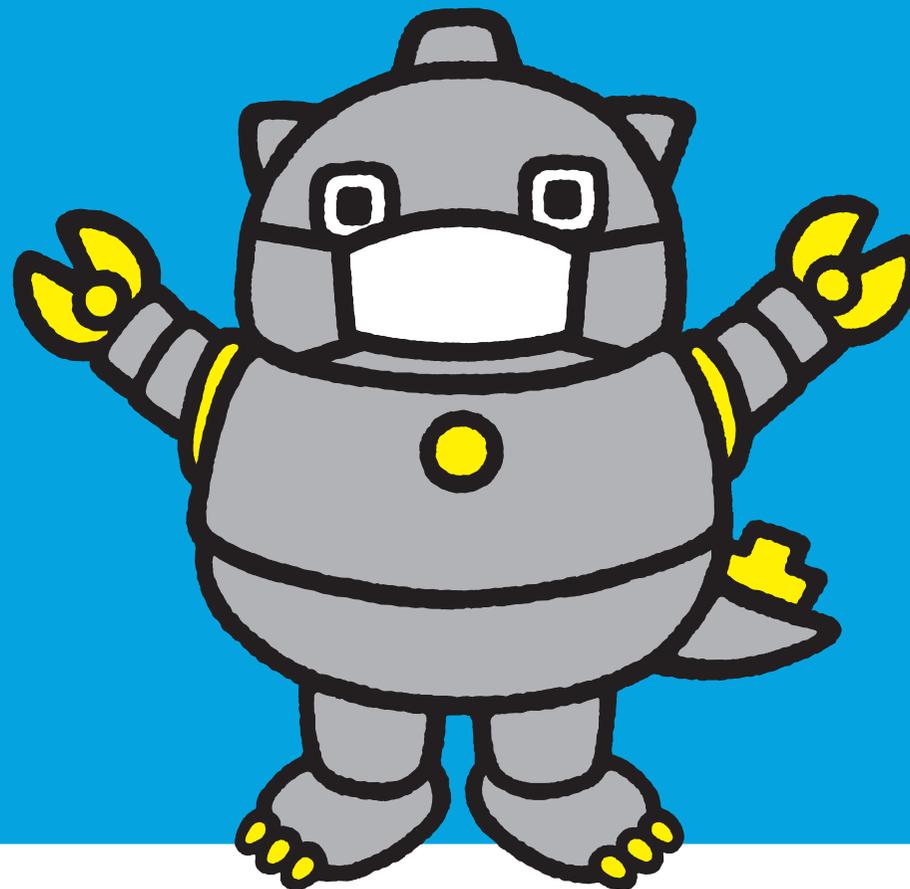
- 環境負荷軽減を実現する事業の展開
- お客様の安心・安全への取り組み
- 多様な鑑賞機会の創出とIP(知的財産)の有効活用
- 次世代育成への取り組み

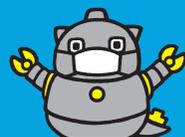
多様性とひと

- 新しい時代の働き方
- 人材育成
- ダイバーシティ(多様性)推進
- 東宝らしい働き方の追求

OUR RESPONSE TO COVID-19

コロナ禍における東宝グループ





コロナ禍における東宝グループ

2020年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「映画」と「演劇」がどちらも休止せざるをえない想定外の事態が起きました。2020年11月現在では、映画館や演劇劇場はコロナ禍前の賑わいを取り戻しつつありますが、まだまだお客様に安心してご覧いただく環境づくりに予断を許さない状況が続いています。

そんな状況にあっても、「映画・演劇」というエンタテインメントは、人々の心を潤し、笑顔にし、元気を届ける力を持ち、withコロナの時代だからこそむしろ必要とされる、普遍的な価値を有する事業であると信じております。今回の事態が収束したとき、人々の心の糧となるエンタテインメントの価値は一層高まっていると信じて、東宝グループはこの事態を乗り切っていきます。

▶ コロナ禍においても「健全な娯楽を広く大衆に提供する」ために

新型コロナウイルス感染症拡大によって、3月からほぼすべての演劇公演が中止となり、4月からは全国の映画館が一斉に休業に追い込まれました。そのような状況においても、「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」という使命のもと、日々変化する社会状況に即した柔軟な対応をとって、映画・演劇事業の継続に努めてまいりました。

緊急事態宣言の解除により、6月には感染防止策を講じたうえで全国のTOHOシネマズの営業を再開し、7月中旬には帝国劇場・シアタークリエで演劇公演の再開を果たすことができました。

しかしながら、映画においては公開を予定していた邦洋の期待作が続々と公開延期となったほか、ソーシャルディスタンスを確保すべく座席間隔を空けての販売となりました。そのような厳しい環境下でも、6月には急ぎょ全国372館でスタジオジブリ作品『風の谷のナウシカ』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ゲド戦記』を配給・上映し多くのお客様にご来場いただきました。7月中旬から8月にかけては、映画『今日から俺は!! 劇場版』を皮切りに、『コンフィデンスマンJP プリンセス編』『映画ドラえもん のび太の新恐竜』など満を持して提供した配給作品が連続してヒットを記録しました。

さらに、10月16日(金)に公開した『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』が、11月24日(火)現在、公開から39日間で興収259.1億円、動員1,939万人を突破する記録的な大ヒットとなり、大きくダメージを受けた映画興行界再生の起爆剤となりました。

コロナ禍においても、東宝グループは映画業界の再興と持続的な発展に向け先頭に立って取り組んでいきます。



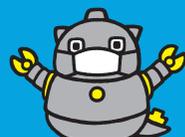
▲ 『千と千尋の神隠し』
©2001 Studio Ghibli・NDDTM



▲ 『劇場版 鬼滅の刃 無限列車編』
©吾峠呼世晴/集英社・アニプレックス・ufotable

● 作品の公開日変更

作品名	新公開日	当初公開日
コンフィデンスマンJP プリンセス編	2020年7月23日	2020年5月1日
映画ドラえもん のび太の新恐竜	2020年8月7日	2020年3月6日
糸	2020年8月21日	2020年4月24日
映画クレヨンしんちゃん 激突!ラクガキングダムとほぼ四人の勇者	2020年9月11日	2020年4月24日
アニメーション映画「思い、思われ、ふり、ふられ」	2020年9月18日	2020年5月29日
STAND BY ME ドラえもん 2	2020年11月20日	2020年8月7日
劇場版ポケットモンスター ココ	2020年12月25日	2020年7月10日
シン・エヴァンゲリオン劇場版	2021年1月23日	2020年6月27日
名探偵コナン 緋色の弾丸	2021年4月1日	2020年6月27日
ヒノマルソウル〜舞台裏の英雄たち〜	2021年5月	2020年6月19日
燃えよ剣	近日公開	2020年5月22日
奥様は、取り扱い注意	近日公開	2020年6月5日
鹿の王	2021年	2020年9月18日



コロナ禍における演劇の作品提供について

演劇においても、『エリザベート』『ミス・サイゴン』などの大型人気作を含む数多くの作品が感染拡大を防ぐため公演中止を余儀なくされました。しかし、当社はそうした困難な状況をチャンスへと変えるべく、様々なイノベーションにチャレンジをいたしました。7月11日に上演した『TOHO MUSICAL LAB.』は、東宝初の配信専用の作品として生み出されました。気鋭の劇作家、根本宗子と三浦直之によるミュージカル作品を、企画から1か月弱、稽古2週間という短期間でゼロから作り上げ、無観客のシアタークリエからライブ映像配信しました。上演直後にはTwitter上で「#TOHOMUSICALLAB」がトレンド入りするなど大きな反響を呼び、「劇場で演劇を観ることができない」というかつてない状況から、新たなステージへと踏み出し、フレッシュかつメッセージ性の強い作品を数多くのお客様にお届けすることができました。さらに、お客様のリクエストにお応えして7月31日から3日間行われたアンコール配信も、大きな盛り上がりを見せました。本作品は、ライブ映像配信だけでなく、ビデオコメンタリー付きのBlu-ray化、テレビ番組でのパフォーマンス披露、WEB上でのグッズ販売など、多角的なビジネス展開を実現させました。

2020年7月以降、帝国劇場『ジャージー・ボーイズ イン コンサート』、『THE MUSICAL CONCERT at IMPERIAL THEATRE』などの一部公演回では、ライブ映像配信を実施し、場所や座席数にとられない多様な鑑賞機会を創出しています。

配信の取り組みにおいては、「観客」と「作り手」の双方向のコミュニケーションで成立する演劇本来の魅力を常に意識しながら、今後も従来の型にとられない表現を開拓していきます。

他にも、“演劇を愛するすべての皆様に少しでも安心してご観劇いただきたい”という思いから、オーガニックコットンマスク、アロマHANDSPREY、ガーゼハンカチの3点からなる「観劇 新・三種の神器」を8月27日に発売し、好評を博しました。

『ジャージー・ボーイズ イン コンサート』の公演日程の途中、従業員に感染者が発生した際も、所轄の千代田保健所から「公演の継続は可能」との判断をいただいたものの、お客様の安心・安全を最優先し、より万全な感染防止策を講じるため4公演を中止いたしました。

これからも東宝は、このコロナ禍の中においても、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら「映画・演劇」作品の提供を続け、持続的な成長を果たすことのできる企業であるべく邁進し続けます。



▲ 『TOHO MUSICAL LAB.』



▲ 「観劇 新・三種の神器」



● 2020年2月以降 演劇公演ラインナップ(新公演状況)

帝国劇場

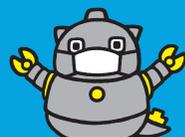
作品名	新公演状況	当初公演期間
Endless SHOCK	2月28日以降中止	2月4日～3月31日
エリザベート	中止	4月9日～5月4日
ミス・サイゴン	中止	5月19日～6月28日
ジャージー・ボーイズ	中止	7月6日～8月9日
ジャージー・ボーイズ イン コンサート	7月18日～8月5日	新規ラインナップ
THE MUSICAL CONCERT at IMPERIAL THEATRE	8月14日～8月25日	新規ラインナップ
VOICARION IX 帝国声歌舞伎～信長の犬～	9月5日～9月13日	新規ラインナップ
My Story -素敵な仲間たち-	9月17日～9月18日	新規ラインナップ
井上芳雄&中川晃教 僕らこそミュージック	9月23日	新規ラインナップ

シアタークリエ

作品名	新公演状況	当初公演期間
VOICARION VII ～女王がいた客室～	2月28日以降中止	2月27日～3月6日
リトル・ショップ・オブ・ホラーズ	一部公演実施	3月13日～4月1日
モダン・ミリー	中止	4月7日～4月26日
ジャニーズ銀座2020 Tokyo Experience	中止	5月1日～5月31日
ふぉ～ゆ～ meets 梅棒『Only 1, not No.1』	中止	6月7日～6月25日
アルキメデスの大戦	中止	6月30日～7月16日

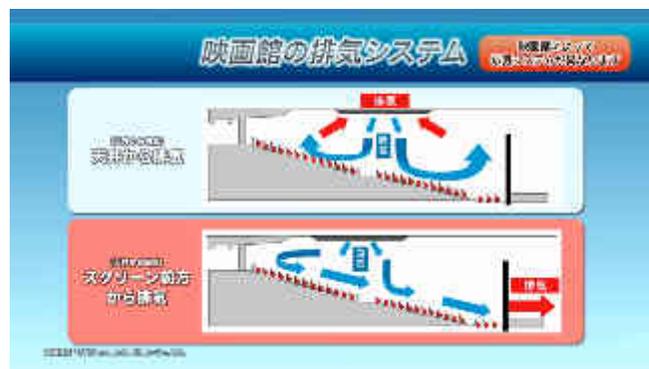
● オンライン配信作品 ※全て2020年

- ジャージー・ボーイズ イン コンサート
- SHOW - ISMS
- THE MUSICAL CONCERT at IMPERIAL THEATRE
- 『ダディ・ロング・レッグズ』スペシャルトーク&ソングイベント
- 『VOICARION』シリーズ
- My Story -素敵な仲間たち-
- 井上芳雄&中川晃教 僕らこそミュージック
- Gang Showman



映画館の感染防止策

TOHOシネマズをはじめとする全国の映画館は、4月から長期の休業を余儀なくされ、多くの新作映画は公開延期となりました。6月から徐々に再開しておりますが、「映画館は“3密”にあたる空間」というイメージを持たれがちであり、民間の調査機関による映画館に対するイメージアンケートでも、換気に対する疑念が見受けられます。しかし、映画館は興行場法に基づき、およそ30分に1回場内の空気を全て入れ替えるなど、館内空調の常時換気を徹底している施設です。また、クラウド型省エネルギーマネジメントサービス「GeM2」を導入し、エネルギー消費量の削減を実現しながら、場内の気温や湿度を快適に保ち、十分な換気を行っています。TOHOシネマズは、全国興行生活衛生同業組合連合会(全興連)、配給会社、デベロッパーとも連携し、「映画館はいかに換気が行き届いていて安全か」を積極的に伝えていく活動を進めています。さらに、スタッフの手指の消毒の徹底、サーモグラフィカメラによる検温、座席間隔を空けたチケット販売を行っています。加えて、お客様ご自身にも手指の消毒の徹底や、スクリーン内でのマスク着用及び会話・食事の制限などにご協力をいただくなど、安心・安全な鑑賞環境に向けて感染防止策に努めています。なお、10月3日からは、一部劇場の特定日において、すべての座席販売を開始しています。



▲ 「映画館の換気実証実験」
（「映画館に行こうキャンペーン2020」チャンネルより）



▲ 映画館内に掲出している
感染症対策ポスター



▲ TOHOシネマズ 日比谷の感染防止策の様子（アクリル板設置、入場口の様子、検温）
※撮影日 6月16日時点での対策です。

演劇劇場(帝国劇場・シアタークリエ)の感染防止策

演劇劇場では、座席間隔を空けてのチケット販売、お客様にマスクの着用、手指の消毒、サーモグラフィによる検温、緊急連絡先のご登録をお願いするなど、万全な感染防止策を施し、政府や自治体の方針に従って上演いたします。公演自体のクオリティを損なわずに、お客様に楽しんでいただけるよう創意工夫を積み重ねています。これからも演劇劇場をあげて感染防止策に取り組んでいきます。なお、政府から発表されました入場者制限の緩和方針に基づき、帝国劇場10月公演『ローマの休日』からお客様の前後左右を空けずに販売しております。

▶ 演劇劇場における
感染防止策の掲示物



株主総会での感染防止策

東宝では毎年5月に定時株主総会を行っていますが、今年は株主様にご来場の見合わせをお願いするとともに、インターネットによる議決権行使の積極的な利用をお願いしました。当日、株主様には、会場での手指のアルコール消毒とマスク着用、サーモグラフィによる検温、飲料提供の中止、座席間隔を空けての着席、短時間での議事進行にご協力をいただき、円滑な総会運営を行うことができました。



▲ 第131回定時株主総会の様子

従業員への感染防止策

2020年2月「新型コロナウイルス対策本部」を社内に設置しました。産業医とも連携しながら、社会情勢などの一般情報や東宝グループ内の情報収集・集約を行っています。従業員に対しては、「体調が悪い場合の行動原則」や「職場での感染防止策」などについて、正確な情報提供や指示を行い感染防止に努めています。また勤務形態についても、緊急事態宣言発令中の出勤率を全社で「20%以下」とし、宣言解除後も「50%以下」としました。11月1日からは、週2回までの在宅勤務制度を恒久化するなど、経済活動と感染防止の両立に努めております。

ENTERTAINMENT

エンタテインメント





「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」:幅広いラインナップ

東宝は、アニメ作品、ファミリー作品、TVドラマシリーズ、文芸作品など、幅広いジャンルの映画を提供しています。老若男女問わず、できるだけ多くの方に映画を楽しんでいただけるよう、バランスのとれたラインナップの編成を心掛け、我々の使命「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」を果たしていきたいと考えています。

東宝グローバルプロジェクト

東宝は、今後も成長が大いに見込まれる海外市場の開拓に着手すべく、「東宝グローバルプロジェクト」を掲げました。2019年には当社のIP(知的財産)である「ゴジラ」や、日本発のIPである「ポケモン」をハリウッドとの共同製作で実写化した『ゴジラ キング・オブ・モンスターズ』や『名探偵ピカチュウ』を、世界中のお客様にお届けし大ヒットを記録しました。来年2021年には『モンスターハンター』の公開を控え、『君の名は。』の実写化などの国際的な共同製作プロジェクトも進行中です。



©2020 Constantin Film Produktion GmbH
©Constantin Film Verleih GmbH

2019年配給作品 興行収入10億円以上の作品

● 実写映画

社会派、時代劇、ラブストーリー、アクション、コメディ、SF——幅広いジャンルで、いかなる世代にも楽しめる作品群を提供しています。

公開年月	作品名	興行収入(単位:億円)
2019年 4月	キングダム	57.3
2019年 1月	マスカレード・ホテル	46.4
2019年 9月	記憶にございません!	36.4
2019年 5月	コンフィデンスマンJP ロマンス編	29.7
2019年 5月	名探偵ピカチュウ	30.1
2019年 5月	ゴジラ・キング・オブ・モンスターズ	28.4
2019年 8月	劇場版おっさんずラブ ~LOVE or DEAD~	26.5
2019年 9月	かぐや様は告らせたい~天才たちの恋愛頭脳戦~	22.4
2020年 2月	七つの会議	21.6
2019年 7月	アルキメデスの大戦	19.3
2019年 2月	フォルトゥナの瞳	13.7
2019年 3月	君は月夜に光り輝く	11.0

● アニメーション映画

キッズからファミリーまで、幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただいています。

公開年月	作品名	興行収入(単位:億円)
2019年 7月	天気の子	140.6
2019年 4月	名探偵コナン 紺青の拳(フィスト)	93.7
2019年 3月	映画ドラえもん のび太の月面探査機	50.2
2019年 7月	ミュウツーの逆襲 EVOLUTION	29.8
2019年 4月	映画クレヨンしんちゃん 新婚旅行ハリケーン ~失われたひろし~	20.8
2019年 8月	ドラゴンクエスト ユア・ストーリー	14.2
2019年 12月	映画 妖怪ウォッチ FOREVER FRIENDS	12.5





お客様とともに育む、東宝の演劇文化

高い芸術性を持ち、広く大衆に楽しんでもらえる「国民劇」をお届けするという創業者・小林一三の理念のもと、東宝の演劇は日本演劇史に残る数々の名作を生み出し、直営劇場である「帝国劇場」と「シアタークリエ」を中心にさまざまなジャンルの演劇をお客様にお届けしています。「帝国劇場」は、日本初の本格的な洋式劇場として100年を超える歴史と伝統を誇ります。1939年より東宝が運営にあたり、「時代を象徴した劇場」をコンセプトとして、ブロードウェイ・ミュージカル、宝塚歌劇、ストレートプレイなど、これまで様々なワールドクラスのエンタテインメントを世に送り出してきました。また、「新しいものを新しいキャストで」というコンセプトで誕生した「シアタークリエ」も13年目を迎え、ジャンルを問わず国内外の優れた作品を幅広く紹介し続けています。これら2劇場を中心に、全国各地の劇場で東宝演劇作品を上演し、さらなる演劇文化の向上と発展に努めています。

● 歴史ある当社の演目

上演開始年	作品名	
1961年	放浪記	森光子から仲間由紀恵に受け継がれた、東宝演劇の代表作
1963年	マイ・フェア・レディ	日本初「ブロードウェイ・ミュージカル」の翻訳上演
1966年	細雪	時代を彩る名女優で魅了する、谷崎潤一郎原作の四姉妹の物語
1966年	風と共に去りぬ	M・ミッチェルの不朽の名作を菊田一夫の脚本により世界初舞台化
1967年	屋根の上のヴァイオリン弾き	森繁久彌に始まり代々の名優に支えられた家族愛を描くミュージカル
1969年	ラ・マンチャの男	半世紀にわたり愛され続ける、人間のあるべき姿を問いかけるミュージカル
1987年	レ・ミゼラブル	世界初の英語圏以外での上演から、公演回数3,000回を超えるミュージカルの金字塔
1992年	ミス・サイゴン	大がかりな舞台セットと美しい音楽が代名詞となったメガ・ミュージカルの先駆け
1998年	ローマの休日	史上初の舞台化、いまなお進化し続ける東宝オリジナル・ミュージカル
2000年	エリザベート	数々の名曲と華やかな衣裳に彩られたウィーン発ミュージカルの傑作
2006年	マリー・アントワネット	遠藤周作の小説をもとに国内外のクリエイターと製作した東宝オリジナル・ミュージカル
2008年	RENT	若者たちの姿を描く、ピューリッツァー賞にも輝いたロック・ミュージカル
2016年	ジャージー・ボーイズ	読売演劇大賞受賞、ブロードウェイ・ジュークボックス・ミュージカル翻訳公演の代表作

● 東宝オリジナル・ミュージカル作品

上演開始年	作品名
1970年	スカーレット
1998年	ローマの休日
2003年	十二夜
2006年	マリー・アントワネット
2014年	レディ・ベス
2016年	王家の紋章
2017年	グレート・ギャツビー
2018年	ナイツ・テイルー騎士物語ー
2020年	TOHO MUSICAL LAB. (配信専用ミュージカル第一弾)
2020年	Gang Showman



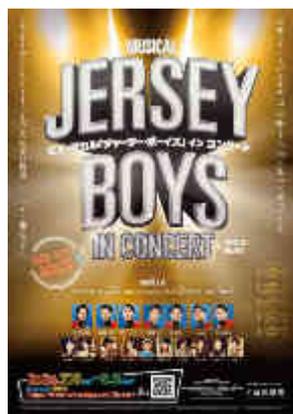


世界で評価される東宝演劇

東宝は、第73回「トニー賞」で11部門にノミネートされ、ミュージカル主演男優賞、同脚本賞を受賞したブロードウェイ・ミュージカル『トッツィー』に出資し、共同プロデューサーとして作品に参加しました。2019年6月には、人気演目『エリザベート』などの日本における芸術活動が称えられ、小池修一郎、山口祐一郎、一路真輝、花總まり、井上芳雄が、オーストリア政府より「オーストリア共和国功労章」を授与されました。

国内においても、東宝は新たなオリジナル作品の製作に挑戦し続けています。『ナイツ・テイル -騎士物語-』では、堂本光一、井上芳雄ら人気と実力を備えたキャストと、演出家ジョン・ケアードをはじめ、音楽、振付、装置、衣裳など、ブロードウェイやウエストエンドで活躍する世界的クリエイターが結集し、日本発ワールドクラスの作品として帝国劇場で初演されました。2020年8月には、『ナイツ・テイル イン シンフォニックコンサート』としてコンサート版(演奏:東京フィルハーモニー交響楽団)を上演し、さらなる躍進を続けています。

2018年、世界初のコンサート版として上演した『ジャージー・ボーイズ イン コンサート』は、コロナ禍の2020年に帝国劇場で再演、関係者の協力により世界初のライブ映像配信を実施しました。このような東宝の新たな挑戦は、国内外で高い評価を受けています。



▲『ジャージー・ボーイズ
イン コンサート』



▲『モーツァルト!』



▲『ナイツ・テイル イン
シンフォニックコンサート』

伝統の継承 -歴史ある作品の公演-

国内公演が30年以上続く歴史ある東宝演劇の一つ『レ・ミゼラブル』は、2019年も連日の大入り満員となりました。2021年5月～10月には、帝国劇場をはじめとする全国各地での公演を予定しております。このように長年にわたり公演を続けていくことで、親子三代でご鑑賞されるお客様も見受けられ、東宝演劇の裾野が広がっています。

2020年4月には『Endless SHOCK』の主演をつとめる堂本光一が、20年にわたりシリーズを牽引してきた功績に対して「第四十五回 菊田一夫演劇賞」の大賞を受賞しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『Endless SHOCK 20th Anniversary』が公演中止となるなか、この輝かしい受賞は演劇界に希望をもたらしました。2020年9月には『Endless SHOCK -Eternal-』を梅田芸術劇場で上演し、進化し続ける力強いパフォーマンスをお客様に届けました。

2021年に公演予定の『マリー・アントワネット』は、これまでに5度の海外公演を果たし、国内外の多くのミュージカルファンからも支持されています。同年には、『モーツァルト!』『レ・ミゼラブル』『GHOST』など人気作品の再演も予定されております。これからも東宝は、新たなラインナップ開発に加えて、世界中のお客様に世代を超えて愛され続ける作品を製作していきます。



▲『レ・ミゼラブル』



▲『マリー・アントワネット』



あらゆる人に楽しんでいただくために

創業者・小林一三の理念に基づき、東宝では「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」を目指しています。また、持続可能な開発目標(SDGs)の「誰一人取り残さない」という理念に則り、あらゆるお客様にエンタテインメントを楽しんでいただける空間と環境を創造し、さらなる快適さと利便性の向上に率先して取り組んでいます。



バリアフリー上映への取り組み

東宝は、映画を鑑賞する上で様々なアクセスバリアをかかえた人たちが快適に映画を楽しむことができるような上映環境を整えています。

バリアフリー上映とは「見えない、見えにくい方」「聞こえない、聞こえにくい方」が、いつでも、どこでも映画が楽しめるよう、音声ガイドや字幕ガイド付きでご鑑賞いただけるサービスです。

東宝では、1998年より聴覚障がい者向けにセリフや効果音などをスクリーンに日本語字幕で表示する「日本語字幕版」上映を開始しました。2018年7月公開の『劇場版ポケットモンスター みんなの物語』以降は、バリアフリー上映サービス「UDCast*1」に対応した「スマートグラス式日本語字幕」の提供を開始しました。2020年2月公開の作品からは、スマートグラスの貸出し端末数および対象劇場をさらに増加させたことにより、従来の「UDCast」に代わり、貸出し用スマートグラスとの連動性の高い「HELLO! MOVIE*2」アプリを上映サービスとして採用しています。このサービスでは、アプリ上で予めガイドデータをダウンロードすることでスマートグラスに字幕を表示させながら本編をご鑑賞いただけます。東宝配給作品では、『今日から俺は!! 劇場版』『映画ドラえもん のび太の新恐竜』『糸』『思い、思われ、ふり、ふられ』『浅田家!』等の数多くの作品が字幕メガネの対象となっており、こうした貸出し実施状況も「HELLO! MOVIE」アプリで確認できるようになっています。

視覚障がい者向けとしては、2008年から「日本語字幕版」に加え、「音声ガイド付き」上映にも取り組み、2016年12月公開の『海賊とよばれた男』からは、「UDCast*1」に対応した視覚障がい者用音声ガイドの提供を開始しました。また、2020年2月公開の作品からは字幕提供と同様に、「HELLO! MOVIE」に対応した視覚障がい者用音声ガイドの提供を行っております。こちらのサービスでも、あらかじめデータをダウンロードすることで「音声ガイド」をお楽しみいただけます。端末のマイクが本編の音声を拾い、セリフや音だけではわかりにくい本編の内容を説明する仕様となっています。

東宝は、より多くのお客様に作品を届けられるように、今後配給予定の作品も映画館と一体となってバリアフリー上映の対応強化に取り組んでいきます。

さらに、今後リリースする東宝配給の新作映画(発売元:東宝)のDVD・Blu-rayなどのビデオグラムでは、日本語字幕と音声ガイドを収録するよう努めています。

*1…対象上映作品の全ての上映劇場、上映回にてご利用いただけるバリアフリー上映サービスです。(ただし作品によって提供開始日は異なります。)

*2…「HELLO! MOVIE」アプリは、スマホやスマートグラスで映画の字幕と音声ガイドを楽しめる無料アプリです。



▲ アプリ「HELLO! MOVIE」TOP画面イメージ

● 字幕メガネの貸し出し実施劇場 (2020年11月1日現在)

- TOHOシネマズ 日比谷
 - TOHOシネマズ 新宿
 - TOHOシネマズ 流山おおたかの森
 - TOHOシネマズ 海老名
 - TOHOシネマズ 甲府
 - TOHOシネマズ ファボーレ富山
 - TOHOシネマズ モレラ岐阜
 - TOHOシネマズ 梅田
 - TOHOシネマズ なんば
 - TOHOシネマズ 高知
 - TOHOシネマズ 直方
- <https://www.tohotheater.jp/news/jimaku-glasses.html>



▲ バリアフリー上映対応マーク



▲ 字幕メガネご利用イメージ



▲ 字幕メガネ着用イメージ



障がい者手帳アプリ 「ミライロID」への協力

2019年11月22日より、全国のTOHOシネマズでは、障がいのある方が映画を鑑賞するときに、障がい者手帳のほか、障がい者手帳アプリ「ミライロID」(株式会社ミライロのサービス)を提示して、気軽に割引やサポートを受けられるサービスがはじまりました。TOHOシネマズは新しいサービスをとりいれながら、障がいのある方が安心・快適に映画を鑑賞できる環境整備に努めてまいります。



ミライロID画像

ママズクラブシアター®

TOHOシネマズでは子育て支援の取り組みとして、2003年より業界に先駆けて全国の映画館で「ママズクラブシアター®」を月1~2回・木曜日、全国63サイトで実施しています。「周囲を気にせず映画を楽しめる」「お友達・ママ・パパと公園に行く感覚で映画を楽しめる」「赤ちゃんが泣いてもお互いさま」と、赤ちゃん連れのお母さんお父さんに配慮した上映会が「ママズクラブシアター®」です。通常より音量を小さくし照明を明るくするなど、お子様と安心して映画鑑賞ができる環境を整えています。

※『ママズ・クラブ・シアター』は新型コロナウイルスの感染防止のため、当面の間中止しています。



● ママズクラブシアター®

ママズクラブシアター®を体験するべく、TOHOシネマズ 日本橋にお邪魔しました！今回レポートして下さるのは、育休中の東宝社員の河野美紀さんと川邊沙織さん。川邊さんは0歳と2歳になる娘さんと、河野さんは1歳になる息子さんと一緒に体験しました。

(取材日:2019年8月)



上映前にはベビーカーがずらり



河野美紀さん

∩ VOICE ∩

場内にいる全員がお子さん持ちなので、子どもが泣いても動き回っても“お互いさま”。気後れせずとても居心地が良かったです。また、家で観るよりも映画の内容に入り込めたような気がしますし、育児中にも関わらず、映画館という特別な空間で映画を観ることができて嬉しかったです。



川邊沙織さん

∩ VOICE ∩

子ども達もとてもリラックスしていて、親子ともに楽しめました！家族のイベントとして利用するのもぴったりですね。育児中の私の友人にもどんどんお薦めしていきたいです。



かけがえのない「文化財」を未来へ ―アーカイブへの取り組み

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



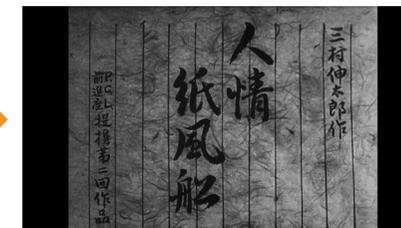
エンタテインメントとしてだけでなく、「文化財」として映画を次世代に継承することは、東宝が果たすべき責任の一つです。劣化しやすい映画フィルムを最新の技術を使って蘇らせ、一般に公開することを通じて、映画文化の継承に貢献していきたいと考えています。

技術力を生かしたフィルムの高画質復元

東宝グループの東京現像所には、古いフィルムをデジタルに変換・修復し、オリジナルに近い映像に復元(デジタルリマスター)する最新技術を備えており、それを駆使する熟練した技術者が所属しています。2018年、『八甲田山』(1977年公開)の上映・放送に伴い、鮮やかな4K映像に復元しました。さらに、2020年には第33回東京国際映画祭で上映する『人情紙風船』(1937年公開)の4Kデジタル修復版を制作しました。修復にあたっては、デジタル機器を使用して、取りこんだ映像に残るキズやホコリを取り去ります。1コマずつの地道な復元作業は、2か月もの時間を要することもあります。また、映像に施す色調整作業(グレーディング)では、厳しい撮影環境下で暗くなってしまった出演者の顔色や表情を、監督・カメラマンが本来表現したかった映像へと蘇らせることに成功しています。デジタル技術と熟練スタッフによって、フィルム作品を経年劣化から守り、貴重な情報を後世に残して作品未体験の若い世代まで名作をお届けしていきます。

BEFORE

AFTER



▲『人情紙風船』復元前後比較画像



▲ 東京現像所技術者による、フィルム復元作業の様子





IP(知的財産)を活用した社会貢献の取り組み

「ゴジラ」:時代の変化に寄り添ったIP活用

● 新たな取り組み

ゴジラは1954年の誕生以来、昭和・平成・令和と時代の変遷に合わせて、映画のみならず様々な形で進化を続けています。

ゴジラというIPを更に幅広い年齢の多くの人々に愛されるキャラクターに成長させるべく、2019年10月にはゴジラIPをより多角的に展開していくための専門の組織として、当社映像事業部内に「ゴジラルーム」を新設しました。ゴジラ・ブランドのマネジメントとブランディングを担い、新たな取り組みを始めています。

子どもたちにとってのマイ・ファースト・ゴジラとして生まれた、愛くるしいキャラクター「ちびゴジラ」をはじめ、ゴジラは玩具、アパレル、アプリ、ゲームと活躍のフィールドを拡大し続けています。

政府による緊急事態宣言下の外出自粛要請中には、デジタル施策にも注力しました。「怪獣人形劇ゴジばん」や「ちびゴジラ」などのアニメーションをはじめ、「ラグビー日本代表によるゴジラ筋トレ」をYouTubeのGodzilla Channelで配信、また、Twitter上でゴジラ検定を実施するなど、自宅でも楽しめるバラエティーに富んだコンテンツを提供してきました。



▲ 「ただいま! ちびゴジラ」



▲ 怪獣人形劇ゴジばん



▲ ラグビー日本代表によるゴジラ筋トレ
© TOSHIBA BRAVE LUPUS

10月10日、兵庫県淡路島公園アニメパーク「ニジゲンノモリ」に世界初の実物大ゴジラ・アトラクション「ゴジラ迎撃作戦」がオープンしました。ジップラインやシューティングなどの体感型アトラクションで幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただいています。

また、併設の「ゴジラミュージアム」では、ゴジラの歴史を楽しめる世界初の常設ゴジラ博物館として、ここでしか見られない展示物を数々の公式資料と共にご覧いただけます。

デジタル関連では、ゴジラ公式アプリ「ゴジラ+(プラス)」をリリースいたしました。これまで個別に発信していた、作品、グッズ、イベントなど多岐にわたるゴジラ関連情報を一元化し、よりダイレクトかつ包括的にお客様に最新ニュースを発信してまいります。また、コアファンのみならずライトファンでも気軽に楽しめるデジタルカード収集のミッション機能なども実装し、さらなるファン獲得を目指します。

今後もゴジラは新たなチャレンジを続け、幅広い世代に夢と勇気をお届けします。



▲ 実物大ゴジラ・アトラクション「ゴジラ迎撃作戦」



▲ ゴジラ公式アプリ「ゴジラ+(プラス)」



▲ ゴジラミュージアム



● ゴジラと街

コロナ禍を経て大きく変貌した街や生活にあっても、ゴジラはその存在感を大いに発揮しています。代表的なものでは、新宿東宝ビルから街を見下ろす巨大な「ゴジラヘッド」があります。2015年の新宿東宝ビルオープン以来、本来破壊神であるゴジラが、街の安全を見守るかのようなシンボリックなランドマークとして、新宿歌舞伎町のイメージ刷新の一翼を担ってきました。

さらに2017年、新宿には、世界初のゴジラ公式ショップとして「ゴジラ・ストア Tokyo」が誕生。そして、この秋、待望の2号店として大阪心斎橋に「ゴジラ・ストア Osaka」がオープンしました。

ゴジラ関連の魅力ある商品を展開し、国内のみならずインバウンドのお客様も多数来場し、世界中にファンを増やし続けています。

また、ゴジラの生誕日である11月3日には、より多くの皆様にゴジラの魅力を感じてもらうために「ゴジラ・フェス」を開催しています。ゴジラにちなんだ食べ物・通称「Gフード」の屋台や、初代ゴジラの着ぐるみによるグリーティングなど、子どもから大人まで楽しめる充実したイベントとなっています。2017年、第1回を新宿歌舞伎町にて開催し18,000人以上、2018年、第2回は場所を日比谷に移し「新・ゴジラ像」が見守る中、19,000人以上の動員を記録しました。ゴジラ生誕65周年の2019年には25,000人を動員し、通常、一般の方が立ち入ることのできない東宝スタジオツアーも実施するなど、年を追うごとにイベント内容もスケールアップしています。2020年は、新型コロナウイルスの影響もあり、みなさまの安心・安全を最優先に初のオンライン開催となる「ゴジラ・フェス オンライン 2020」を実施。リアルイベントにはないオンラインならではの企画でファン満足度を向上し、あらたなビジネスの可能性を切り開きました。

いつの日か本来の街の賑わいを取り戻す祈りをこめて、またエンタテインメントの守護神としてこれからもゴジラは街とともに成長していきます。

ゴジラという当社を代表するIPを最大限活用することで、東宝はこれからもエンタテインメントを通じてステークホルダーのみなさまに夢と勇気と希望をお届けしながら、持続的成長を目指していきます。



▶ 大阪心斎橋「ゴジラ・ストア Osaka」



▶ 新宿東宝ビル「ゴジラヘッド」



▶ 「ゴジラ・フェス オンライン 2020」



▶ 日比谷ゴジラスクエア

11 住み続けられるまちづくりを



ENVIRONMENT & SOCIETY

環境・社会





環境負荷軽減を実現する事業の展開



スバル興業での取り組み

東宝グループのスバル興業は、創業以来、「社会に奉仕すること」を企業理念として、道路関連事業・レジャー事業・不動産事業を展開しています。特に主力の道路関連事業では、環境負荷軽減を重点とした事業活動を推進しています。今後も各事業を通して豊かな生活を提供し、SDGsを意識した持続可能な社会の発展を目指していきます。

● 水環境に配慮した「濁水処理システム」の確立

スバル興業は、1964年から道路メンテナンス事業に着手し、円滑な経済活動の維持と利用者の安全を守ることで社会に貢献してきました。しかし、清掃作業や工事・事故処理作業で発生・回収した汚濁水の処理に苦慮してきた経験があり、長年にわたって問題解決の検討を重ねてきました。そこで、汚濁水を中和しながら浄化する、新しいタイプの無機系凝集剤「水澄まいる(ミズスマイル)」の開発に至りました。(凝集剤とは、汚濁水に分散している粒子を集合させ、沈降を促進するために用いられる薬剤) 本製品を汚濁水の処理に用いることで、浄化作業工程が省略化されるだけでなく、廃棄物の削減にも貢献します。さらに、新たに開発した「濁水処理機」、「加圧型脱水機」と併用し、独自の「濁水処理システム」を確立させたことで、各種廃水や汚泥・放射性物質等の除去へと事業範囲を拡大しました。



▲ 「凝集剤」投入イメージ

1. 適量を投入



2. 攪拌する



3. 処理完了



▲ 浄化された処理水（上澄水）は排水または再利用することが可能です

● 持続可能な環境保全のために

スバル興業の「濁水処理システム」を利用した技術は、東日本大震災復興支援にも活かされ、福島県内各地の道路や住宅における「放射性物質の除染業務」等に貢献しました。また現在では、その道路除染の経験を活かし、「ため池浄化業務」等で環境保全の一端を担うとともに、汚濁水の処理に取り組む官公庁や企業に、「水環境保全商品」として「水澄まいる」を導入していただくことで、さまざまな現場での水環境保全を促しています。スバル興業は、今後も環境に配慮した技術や製品のさらなる開発に取り組んでいきます。



▲ 高圧洗浄吸引による除染



▲ ミニスーパーによる除染水回収



● ため池浄化業務



1. 池底での洗浄と汚濁水汲み上げ



2. 浄化前の汚濁水



3. 濁水処理機【自社開発】で汚濁水を浄化



4. 浄化された水は放流と再利用



5. 加圧型脱水機【特許取得】で浄化後の汚濁物を減容化



6. 減容化された廃棄物



お客様の安心・安全への取り組み

東宝は、お客様に安心してエンタテインメントを楽しんでいただくため、安全の確保が最重要の課題であり果たすべき責任であると考えています。お客様の安全を守り、社会に信頼される企業であるため、日頃から防犯・防災活動に努めています。

11 住み続けられるまちづくりを



防犯への取り組み

2019年6月、当社は、丸の内地区の地域安全活動推進ならびに安全で明るく住みよい街づくりへの貢献に対して、丸の内警察署と丸の内防犯協会より感謝状を授与されました。それ以前からも、本社がある丸の内・有楽町地区の警察関連団体にて役員を務めており、関連団体合同による街のパトロールへの参加や、ひったくりや万引きといった街頭犯罪の抑止活動に協力しています。安心してエンタテインメントを楽しんでいただける街づくりに今後も努めていきます。



防犯功労表彰の様子



ゴミ拾いを兼ねた防犯パトロールの様子



防犯協会「いかのおすし」ポスター展開

消防への取り組み

2020年、東宝の総務部長が会長を務める「丸の内災害予防普及会」は、東京都消防団体より「令和2年度防災安全功労者」表彰を受けました。丸の内管内で「火災予防安全もちつきまつり」の開催など、消防広報活動に尽力した功績によるものです。東宝はこれからも、いつ起こるかかわからない火災に対して、日ごろの訓練や予防に注力していきます。



表彰状授与の様子

COLUMN 独自の防災訓練を実施

本社がある東宝日比谷ビルでは、毎年秋に丸の内消防署の協力のもと総合消防訓練を実施していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。そこで今年は、当社独自に「階段を使用した避難訓練」を行います。昨年夏に発生した京都の放火事件等を教訓に、常にお客様や従業員の生命を守る行動をとってまいります。感染症対策のみならず、火災や自然災害に対しても、日頃から防災意識を高めるよう努めています。

防災への取り組み

1958年に旧東京宝塚劇場で発生した火災を教訓に、東宝では所有する各ビルで「自衛消防隊」を編成しています。本社がある東宝日比谷ビルでは、毎年丸の内消防署の協力を得て緊急事態を想定した消防訓練を実施*し、「東京駅周辺防災隣組」をはじめとした防災コミュニティに参加するなど、日々防災活動の推進に努めています。

2019年、丸の内消防署と丸の内災害予防普及会主催による、各企業・団体の「自衛消防隊」が訓練を競う審査会が開かれました。その審査会において、参加25隊中、東宝ファシリティーズの「有楽町センタービル自衛消防本部隊」が見事に優勝し、「東宝日比谷ビル自衛消防隊」が3位入賞という素晴らしい結果を残しました。

*…2020年は新型コロナウイルスの影響で未実施



「自衛消防隊」審査会表彰の様子

映画館と演劇劇場の安全への取り組み

東宝グループの映画館・演劇劇場では、お客様に安心して作品をお楽しみいただけるように、劇場単位での救命講習、避難訓練をおこなっています。さらにTOHOシネマズでは、足元灯の小まめな点検、ガラス張りの内装の見直し、専門コンサルタントの指導のもと、大震災を想定したリアルタイム型シミュレーション訓練など、安全を最重要視した取り組みを進めています。さらに感染防止策として、手指の消毒剤設置や、入場前の検温、従業員のマスク着用を徹底するなど、安心・安全な鑑賞環境の確保に努めています。



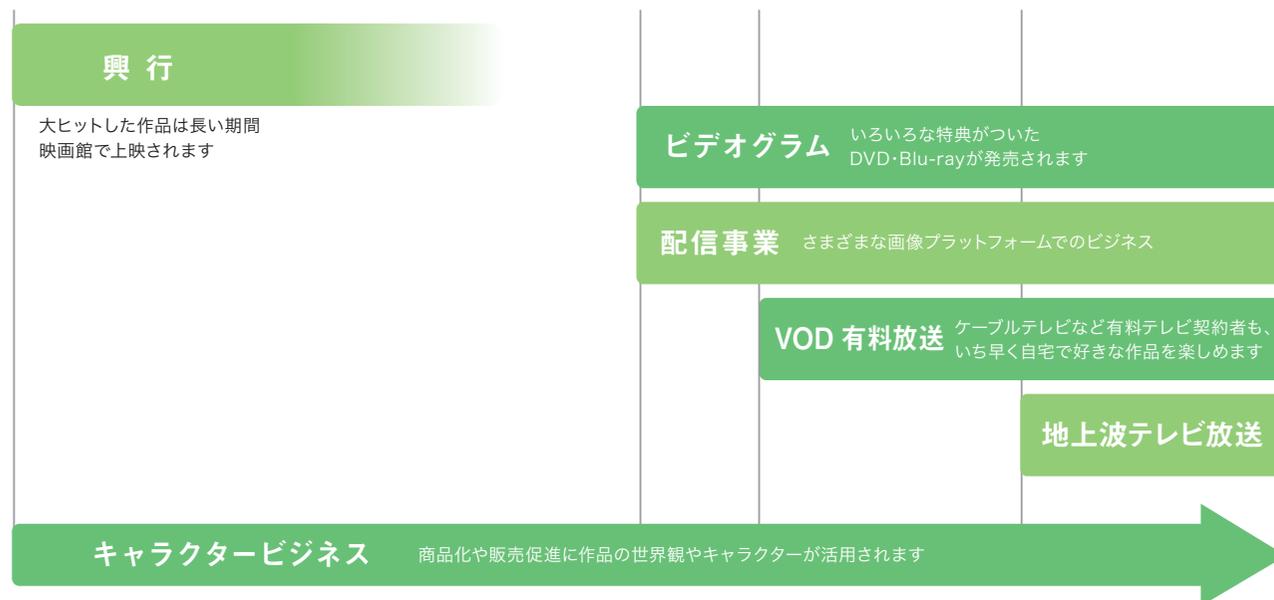
多様な鑑賞機会の創出とIP(知的財産)の有効活用

映画は、映画館での上映を皮切りに、形を変えてお客様のもとに届けられます。キャラクター商品やパンフレットなどのマーチャンダイジング、公開後はDVD・Blu-ray、配信やテレビ放送など、お客様のニーズに合わせた多様なビジネス展開によって、鑑賞機会を提供しています。同時に、貴重なIPを守るべく、万全の管理体制も整えています。

リリースタイミングのコントロール

一つの映像作品におけるビジネスは多岐かつ多層的に展開していきます。東宝は「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」という視点から、お客様にコンテンツを鑑賞していただく機会をさまざまな形で提供します。また、媒体の特性にあわせてリリースタイミングの調整(ウィンドウコントロール)をおこない、収益も最大限上げていく努力をしています。

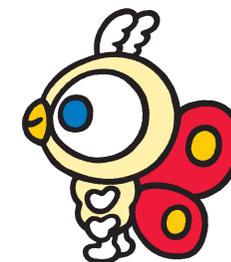
コロナ禍で、映画館が一時的に閉鎖せざるを得なかったこともあり、動画配信サービスの需要が高まっています。しかし東宝では、製作者へ還元する資金確保や売り上げの最大化、そして二次利用の成功には、ファースト・ウィンドウとしての「映画館での上映」と興行収入の最大化が必要不可欠だと考えています。もちろんアフターコロナの時代において、お客様が求める鑑賞環境も考慮しながら、コンテンツのデジタル供給比率を上げる施策も積極的に検討していきたいと考えています。



IP(知的財産)のリスク管理体制

東宝では、映画をはじめとする保有IP(知的財産)を守るため、適時、インターネット上に違法にアップロードされた動画ファイルの削除対応のほか、CODAやJVA、MPAJ*といった団体との連携や、税関での水際対策の働きかけをおこなっています。また、コンテンツ保護の観点のみならず、第三者への権利侵害がないよう、入社時から折に触れて著作権に関する講習を実施するなど社内啓蒙にも努めています。また、劇場用実写映画およびアニメ作品など映像コンテンツの製作にあたっては、シナリオの段階から法務部も交えて社内チェックを十分におこない、コンプライアンス上、そして社会通念上問題となる差別的な表現・描写や第三者への権利侵害がないよう配慮しています。

*…CODA:コンテンツ海外流通促進機構/JVA:日本映像ソフトウェア協会/MPAJ:日本音楽出版社協会





コンテンツ価値の最大化

2018年に創設した「デジタル・コンテンツ営業室」を、2019年に「デジタル・コンテンツ営業部」(通称デジコン)に昇格させ、時代に即した営業体制を拡充させています。デジコンでは、新作のみならずデジタル化した旧作コンテンツのテレビ番組やネット配信、機内上映、映像使用の国内セールス業務を社内のノウハウを集結しておこなうほか、他社へのビデオ化権ライセンスや国立映画アーカイブ等への窓口も務めています。

● 今年の新たな取り組み

音楽朗読劇VOICARION『女王がいた客室』 配信開始

演劇部が企画し、本来なら演劇劇場でのみ公演される演目でしたが、新型コロナウイルスの影響で公演が中止になったことを受け、急遽映像配信を行うことになりました。演劇部が映像を制作し、デジコンが各配信プラットフォームへ営業を行う、初の演劇と映像の部門横断型プロジェクトとなりました。



テレビアニメ「今日から俺は!!」 初高画質HD化による配信開始

今年の実写版映画公開に合わせ、東宝がアニメ(OVA)化していたものを、初めて高画質HD化して配信提供。



©西森博之、小学館/東宝/びえる

「傷だらけの天使」 東宝初の“テレビ映画”配信

放送45周年を記念した事業。東宝としてテレビ映画の配信は初。



©東宝

東宝制作のポスターをSDGsトレインに掲出

阪急電鉄と阪神電気鉄道の「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」の運行に伴い、東宝はSDGsポスターを制作しました。2020年3月から5月にかけて、阪急宝塚線や神戸線をはじめとする複数の路線に計50枚掲出されたこのポスターのデザインには、親しみやすいちびゴジラのデザインで、東宝らしいメッセージを伝える内容を制作しました。東宝は今後も魅力あるコンテンツやIPを活用しながら、エンタテインメントを通じて子どもたちの夢と未来を応援してまいります。



▲ SDGsトレイン広告



未来のお客様とクリエイターのために ―次世代育成への取り組み

次世代を担う若い「才能」を育成するため、映画・演劇などを通じた「東宝グループらしい」さまざまな活動に取り組んでいます。

新たな「才能」の発掘へ

東宝は、「TOHO VISION 2021 東宝グループ中期経営戦略」で掲げた「優れたクリエイターとのパートナーシップ強化」として、2018年6月に、住友商事傘下のデジタルメディア事業社 AlphaBoat 合同会社と資本業務提携をし、その一環で才能発掘プロジェクト「GEMSTONE」を立ち上げました。プロ・アマ問わず YouTube などの SNS プラットフォームを活用した上で、毎回テーマに沿った作品を投稿するクリエイターの中から優れた才能の「原石」を発掘します。入賞者には当社のプロデューサー陣による作品の監修や助言、及び当社映像作品の製作機会の提供を通して、映画やアニメの監督及び音楽家やタレントなどを育成していきます。2018年11月に第1弾は「ゴジラ」をテーマに募集し、入賞したクリエイターと東宝で具体的な企画開発を行いました。オーディションは第2弾以降も継続的に開催し、2020年9月現在6回目を迎えました。多様な角度のテーマから作品を募ることで、新たなクリエイターの発掘・育成に積極的に取り組んでいます。



▲ 受賞をきっかけに制作された「怪獣人形劇ゴジばん」。

2019年8月9日より東宝特撮チャンネルにて配信されたシーズン1は大好評を博し、2020年5月からはシーズン2がスタートした。

● GEMSTONE クリエイターオーディションの募集内容

募集テーマ	
第一回	ゴジラ
第二回	With Japan !
第三回	西尾維新『ヴェールドマン仮説』プロモーション映像
第四回	新宿アニメクリエイターオーディション
第五回	ショートホラーフィルムチャレンジ ※株式会社間とのコラボ
第六回	リモートフィルムコンテスト ※劇団ノーマーツとのコラボ

「バンダイナムコ研究所」分室が東宝スタジオに ―最先端テクノロジーと映画技術の融合で相乗効果を目指す

2020年2月、東宝スタジオ(東京都世田谷区)は「バンダイナムコ研究所 東宝スタジオラボ」を誘致しました。東宝スタジオは、すべての映像コンテンツ制作者が利用できる日本を代表する制作拠点として、国内外の多数のクリエイターにご愛顧いただいています。また「バンダイナムコ研究所」は、VR・MR・AIなどの最先端技術を有し、その技術を用いてゲーム開発を行う優秀なエンジニアが所属しています。その2者が交流を続けるなかで、ゲームと映画という異分野同士の技術の化学反応による「新しいエンタテインメント」創出に向けて思いが一致したため、東宝スタジオへの分室設置の提案を快く受け入れていただきました。東宝スタジオ発の傑作『七人の侍』の個性豊かな侍たちのように、東宝と東宝スタジオはこれからも多くの才能が集う場所であり続けることを目指しつつ、他分野の最先端技術を持つ企業とのシナジーを大切に、新しいエンタテインメントをお届けできるよう努めてまいります。



▲ パックマンのMR写真

提供：バンダイナムコ研究所
PAC-MANTM&©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.



▲ スタジオ研究所内部



東宝×アルファポリスによる業務提携

豊かなコンテンツを提供し続けるためには、才能や原作コンテンツを発掘し続けることが非常に重要です。東宝は2017年10月、WEB発コンテンツの出版に軸を置く株式会社アルファポリスとの業務提携を発表しました。同社は、コンテンツ投稿サイト「アルファポリス」を運営し、従来のビジネスモデルでは見つけられなかった隠れた才能を、発掘してきました。東宝は、こうした取り組みと連携することで、新しく質の高いコンテンツ作品の実現につなげていきます。

2018年に共催した「第10回絵本・児童書大賞」で大賞を受賞した「ゆめレスキュー」(作:NOBU)を2020年7月に刊行しました。また同時に、作品の世界観をもとにしたAI子守唄として「ほうやれほ」をリリースしました。日本各地の子守唄を人工知能に多数学習させ、自動作曲したいくつかの候補曲の中から、実際に子どもたちの眠りに最も効果のあった一曲が選ばれました。人気アーティストPUFFYが作詞と歌唱を担当。ゆめレスキューのキャラクターたちによる、かわいらしい、魅力満載のミュージック・ビデオも展開しています。

東宝は今後もあらゆる成長機会を捉え、各分野の融合によるシナジー発揮を目指して、今後のコンテンツ業界が更に豊かになるよう、あらゆる角度からの新しい才能発掘に努めてまいります。



③ 「ほうやれほ」
<https://www.youtube.com/watch?v=RXJ6HnfTvoc>

「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」への参加・協力

東宝グループの東宝映画は、映像産業振興機構(VIPO)が2006年から文化庁より受託しておこなっている人材育成事業「NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA(ndjc):若手映画作家育成プロジェクト」にて、短編映画作品製作に協力しました。関連団体の推薦とワークショップを経て選ばれた3~5名の作家が35ミリフィルムでの撮影で短編映画を制作する研修をおこないます。東宝映画は昨年までの14年間に4人の若手作家の短編制作を支援しました。ndjc2019で制作された映画は、東京、京都、大阪、名古屋にて上映されました。また、ndjc出身監督の活躍として、今年度はふくだももこ監督『君が世界のはじまり』(配給:バンダイナムコアーツ)、平林勇監督『SHELL and JOINT』(配給:Giggly Box)などが公開されました。当社配給作品においても、2020年には中野量太監督作品『浅田家!』(東宝幹事作品)が公開され、2021年には中江和仁監督作品『劇場版「きのう何食べた?」』が公開を控えており、新たな才能の活躍が期待されています。



©2021 劇場版「きのう何食べた?」
製作委員会



©2020「浅田家!」
製作委員会

地域学校協働活動への参加

東宝は、子どもたちの未来や夢を応援するために、希望する小・中・高への出張授業や企業訪問の受け入れをおこなっています。内容としては、映画が作られる工程を説明する「映画ができるまで」というプログラムを中心に、「キャリア教育」や「著作権」へも触れるなど、幅広いテーマの講義をおこなっています。2019年は、企業訪問として43校、出張授業として高校2校・計461名の学生へ講義をおこないました。「学習応援団」の取り組みに賛同し、2019年は文部科学省主催の「こども霞が関見学デー」へ2年連続参加しました。また、阪急阪神ホールディングス株式会社が「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」において掲げるSDGsへの取り組みにも賛同し参加しました。両イベントにおいて、子どもたちに実際に映画のポスターづくりを体験してもらうなど、当社の事業への理解を深めてもらいました。

これからも東宝は、子どもたちに質の高いエンタテインメント学習の機会を提供していきます。

※2020年9月現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため取り組みを一時中止しております。



④ 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」のポスターづくりの様



④ 「こども霞が関見学デー」の講義の様
(2019年8月8日)



家族向け職場見学会の実施

東宝グループ社員の家族もステークホルダーとして大切に考えています。2016年から毎年1回、家族職場見学会を開催し、就学児童を中心に東宝グループ社員の家族を招待して、会社の事業の理解を深めてもらう機会を設けています。

※2020年9月現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため取り組みを一時中止しております。



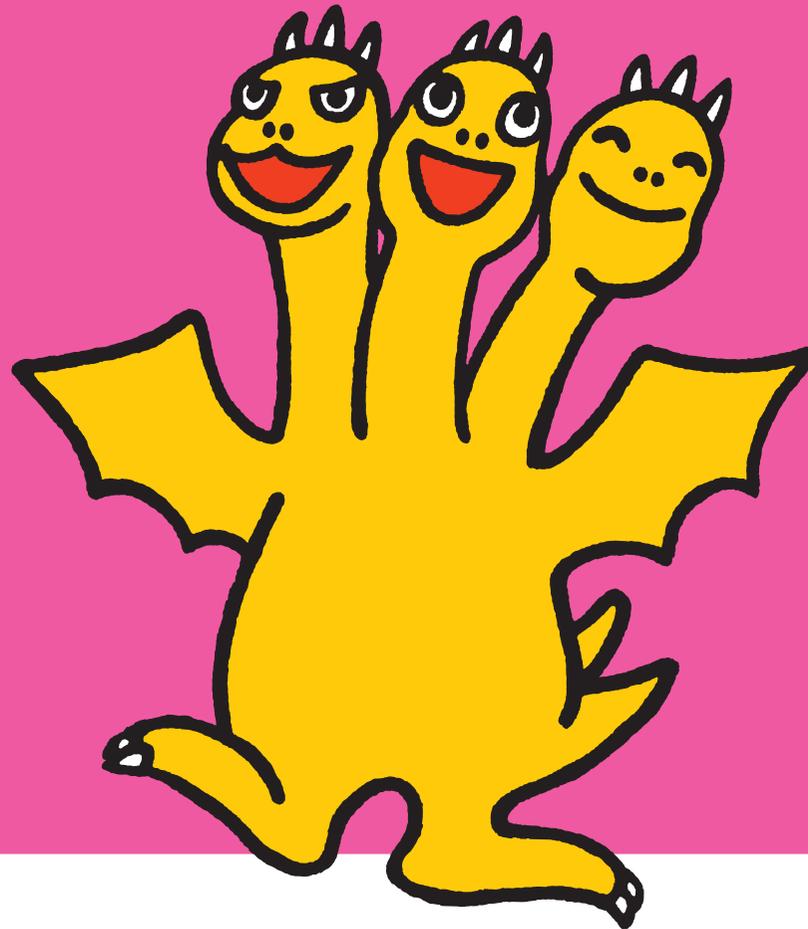
④ 東宝スタジオでの見学の様子



④ 東宝スタジオでの効果音収録体験の様子

DIVERSITY & HUMAN RESOURCES

多様性とひと





新しい時代の働き方

ウィー WEプロジェクト 職場環境の改善

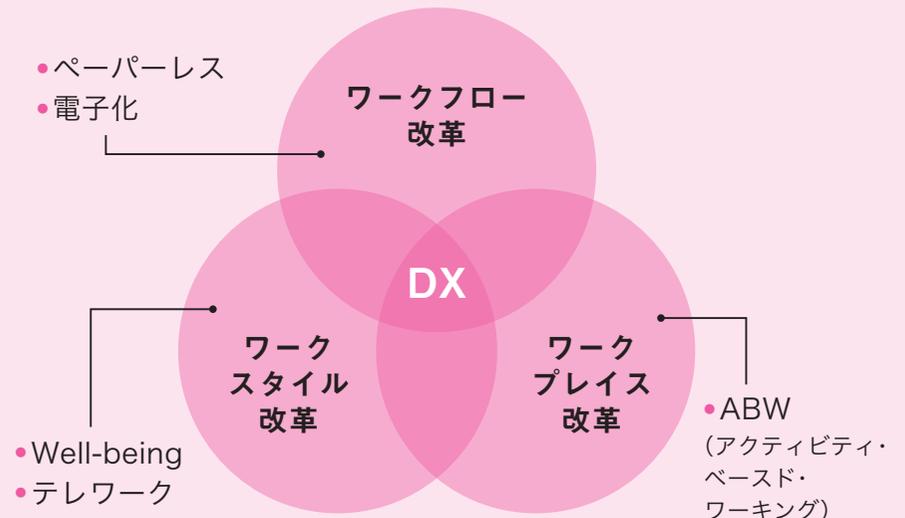
東宝は、2019年夏より部門横断で職場環境改善を目指す「WEプロジェクト」(Work Environmentの頭文字)を発足しています。紙資料を減らし、現行のキャビネットや棚類を50%に削減する「断捨離作戦」に取り組み目標を達成すると、続いて「シン・レイアウト作戦」と題して、オフィスレイアウトの改革に着手しています。その他、ファイルクラウドサービス「box」の全社導入、名刺管理システムの全社導入、効率的な会議進行をはかるため、終了5分前になるとゴジラが鳴き声を発して知らせてくれる会議室管理システムの導入、契約書のデータ管理システム導入の検討など、コロナ禍以前から取り組んできました。

今後は、アフター／ウィズコロナ時代に合わせて、持続的成長をより可能とする新しい働き方を目指し、テレワークやDXを取り入れた効率的で様々なワークスタイルに対応する職場環境を整備していきます。

2022年(創立90周年)に向けて **NEW**

2020年6月、東宝は管理部門を統合し「管理本部」を設置しました。管理本部は、WEプロジェクトをさらに進化させ、創立90周年を迎える2022年春を目標に「アフターコロナに向けた業務系DXの推進」を目的とする、「TOHO Transformation for 90th (TX90)」を取り組む課題に掲げました。DXを軸に、業務改革(ワークフロー)・オフィス改革(ワークプレイス)・働き方改革(ワークスタイル)の3つのワーク改革を並行して推進し、会社全体の組織風土や文化そのものの改革を目指していきます。

DXを中心軸とした3つのワーク改革

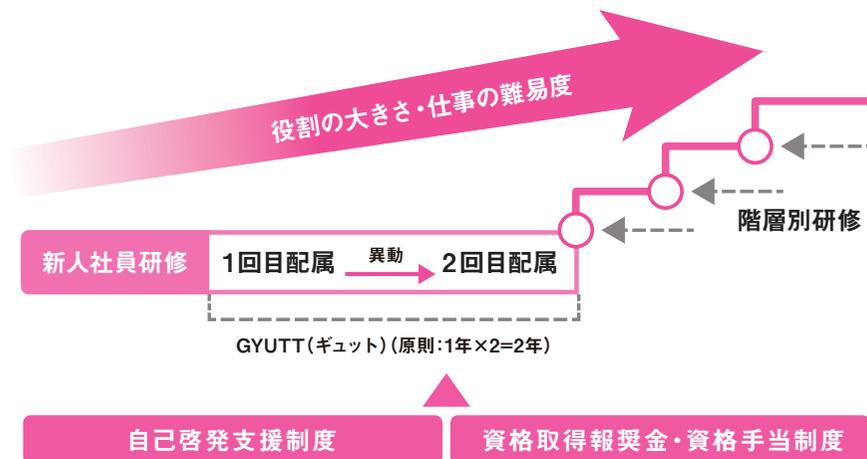




人材育成 — 朗らかに、清く正しく美しく

■ 主な人材育成制度

将来的に会社経営の根幹を担うべく、入社時から経験とキャリアに応じて、ビジネスに必要な基本スキル習得から個々の適性や自発性に基づいた能力アップを図るための各種研修プログラムを用意しています。



若手育成制度 「GYUTT」(ギュット)

新入社員に2年間で2部門を“GYUTT(ギュット)”経験させ、入社3年目から早期に活躍できるような育成をおこなっています

評価を通じた人材育成

仕事上の課題や自身のキャリアアップについて、今後の自らの目標を具体的に記したシートを作成します。それをもとに、1年に複数回面談を設け、詳細な行動計画やキャリア形成を話し合うことで社員の成長を促します。

ジョブチャレンジ制度

一定の条件を満たした社員が、異動希望部門に応募し、部門のニーズと合致すれば異動が実現する制度。キャリアアップを望む社員の主体的なキャリアデザインを支援します。

自己啓発支援制度

仕事に必要な通信教育の受講料の8割を補助することで社員の学習意欲を向上させます。公的資格を取得した際には、手当を支給。社員の能力アップを支援しています。

■ 社員データ

当社では、「少数精鋭」「適材適所」という人事方針のもと、適正な人員構成を実現しています。

		社員数	平均勤続年数	平均年齢
2017年度 (2018年2月末時点)	男性	224名	15.1年	39.6才
	女性	96名	15.0年	38.9才
2018年度 (2019年2月末時点)	男性	225名	14.6年	39.7才
	女性	101名	13.4年	38.5才
2019年度 (2020年2月末時点)	男性	216名	14.6年	39.5才
	女性	92名	14.2年	38.5才

*この表には、嘱託・出向受入者を含みません。

■ 低い離職率

当社では、充実した研修制度や丁寧なフォローアップで、低い離職率を維持しています。

		定期大卒採用者	退職者 [2020/6/1 現在]
2017年度	男性	9人	1人
	女性	3人	0人
2018年度	男性	6人	0人
	女性	4人	0人
2019年度	男性	9人	0人
	女性	5人	0人
計		36人	1人

3年離職率
2.7%



オール東宝横断組織

部門を横断する組織づくりにより、社員の柔軟な発想を大切にしています。

その取り組みの一つとして「ゴジコン(ゴジラ戦略会議)」を設置しています。「ゴジラ」の価値をさらに高める戦略を包括的に検討・推進していくために、東宝グループ全体から選出されたメンバーが所属しています。「ゴジラ」というキャラクターの魅力を、往年のファンから「ゴジラ」未体験層まで、幅広くアピールするための戦略的な企画を立案・実行しています。

その他にも、下記のような組織・制度をつくり、部門や年齢・性別を超えたプロジェクトチーム型の業務遂行を積極的に活用することで、社員ひとりひとりのキャリアや能力を生かし、多様な活躍のチャンスを引き出すべく努めています。

ゴジコン

(ゴジラ戦略会議)

「ゴジラ」の価値をより高めるために発足。映画以外でも、数々の「ゴジラ」とのタッチポイントを創出しています。グループを横断し、メンバー構成をしています。

ヒロアカコン

(ヒロアカ
カンファレンス)

2016年4月より放送を開始したテレビアニメ『僕のヒーローアカデミア』を、東宝グループを代表するキャラクターに大きく育てるため発足。2018年8月と2019年12月に劇場版を公開し、大ヒットを記録しました。2021年春にテレビアニメの第5期放送が控えています。

イノコン

(イノベーション
カンファレンス)

東宝グループが、中長期の持続的成長を実現するために、新規領域への事業拡張や本業のさらなる深堀・強化といった「イノベーションの創出」を目指し発足。新規事業企画コンテストを東宝グループ内で実施し、多種多様な企画が集まりました。

このアイデアの種が「新たな成長ドライバー」として開花することを目指しています。

GEMSTONE プロジェクト

YouTube及びSNSを活用した才能発掘プロジェクトチームです。各部署の若手社員を中心に構成され、ジャンルやプロ・アマを問わずさまざまな「原石」を発掘し、将来の東宝、映像ビジネスを担う「才能」を育成していきます。

副所属/ アソシエイト メンバー

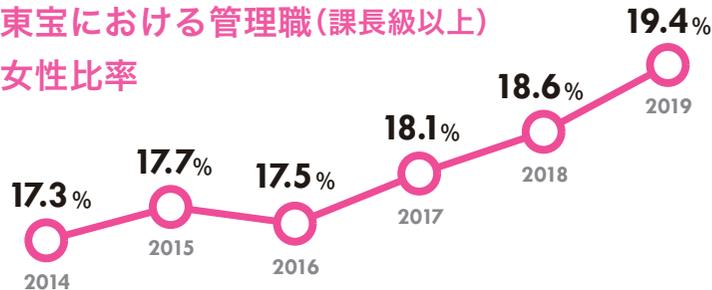
所属部署とは異なる部門に「副所属」「アソシエイトメンバー」という形で在籍することで、他部門の事業範囲でも本人の持つ能力や知見を活かします。2020年11月現在、計11名の社員がこれらの肩書を保有して活躍しています。



ダイバーシティ(多様性)推進



東宝における管理職(課長級以上) 女性比率



女性活躍推進

厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」掲載の「行動計画」でも示しているように、2016年4月1日～2021年3月31日の5年間で管理職に占める女性割合を高め、意欲と能力のある女性を積極的に採用し女性割合を高めるよう努めます。女性リーダーの育成を目的として、男女の公正な配置・評価・昇格・研修等を進めた結果、2019年は19.4%の比率を達成しています。コロナ禍を機に、さらに柔軟な働き方を進めることで、目標達成に向けさらに加速させていきたいと考えております。

広がる女性活躍の場

2020年11月現在、当社グループの主要な会社である東宝東和(株)に女性社長が就任しています。また、女性管理職の割合が徐々に増加傾向にあり、グループ全体では11名の女性取締役が、また、東宝でも女性部長が就任するなど活躍の場が広がっています。

「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定されました **NEW**

東宝は、性別多様性に優れた企業を対象にして構成される「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の銘柄に選定されました。同指数は米国の金融サービス企業であるMSCI社が開発したもので、企業における女性の雇用・昇進などのデータやダイバーシティの取り組みに関する開示情報をもとに、性別多様性の観点で業界をリードしている日本企業が選定されております。また、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG(環境・社会・ガバナンス)投資のために採用する指数の一つであります。当社では、今後も引き続き、多様性の尊重、社員の能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

2020 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数(WIN)

※東宝株式会社のMSCI指数への組入れ、および本レポートにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による東宝株式会社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。



障がい者 雇用について

東宝での障がい者雇用

東宝は2.2%(2020年6月1日現在)と、障がい者の法定雇用率を達成いたしました。今後も多様な人材の確保に努めてまいります。

TOHOシネマズでの障がい者雇用

TOHOシネマズでは、ノーマライゼーションの理念の実現に向け、障がい者雇用に取り組んでいます。2020年6月時点で66名、障がい者雇用率は4.44%となり、法定雇用率2.2%を大きく上回っています。清掃や接客業務など、全国のTOHOシネマズの劇場スタッフとして、様々な障がい特性に応じた業務の切り出しをおこなっています。より詳細な取り組みなどは、TOHOシネマズのホームページをご覧ください。
<https://www.tohocinemas.co.jp/csr/index.html>

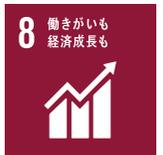
障がい者雇用促進の取り組み

TOHOシネマズでは、劇場周辺にある支援機関と連携しながら障がい者の方々の雇用機会を創出し、彼らが安心して長く働くことができる職場づくりを進めることで地域社会に貢献しています。また最近では、この取り組みで得た知見を他の企業や団体などに紹介する活動にも力を注いでいます。講演会などの場で、採用から定着、さらにはいかに職場の戦力として活躍してもらうかといった幅広いテーマで、当社の経験とそこから生まれた様々な工夫を共有し、社会全体で障がい者雇用がさらに進むよう働きかけています。

2020年は、JICAが手掛ける「ウランバートル市(モンゴル)における障がい者の社会参加促進プロジェクト」に参画し、日本のサービス業における障がい者雇用の事例紹介を行うなど、活動のフィールドは国外にまで広がってきました。これからも、当社で働くたくさんの障がい者の方々の活躍と、社会全体での雇用促進をめざして、取り組みを続けてまいります。



▲ JICA「ウランバートル市(モンゴル)における障がい者の社会参加促進プロジェクト」の様子





東宝らしい働き方の追求

社員が働きやすい職場環境は、時代によって変わっていきます。多様な働き方を支援するために各種制度を整備しつつ、同時に効果的に運用される企業風土づくりにも力を入れています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態を受け、東宝社員の働き方にも大きな変化が求められました。しかし、以前から社会情勢や時代の変化に柔軟に対応しつつ、社員を重要なステークホルダーとしてとらえながら制度やシステムを整備してきたことで、激動の中でも東宝らしい働き方を続けることができました。目まぐるしく時代が変化していく中で、今後も東宝は会社と社員がともに成長していけるような職場環境を整えていきます。

5 ジェンダー平等を
実現しよう8 働きがいも
経済成長も

◀ テレワーク制度の導入 NEW

2020年11月より、東宝は「場所」とらわれない柔軟で効率的な働き方を目指して、「テレワーク制度」を正式に導入しました。すべての従業員を対象に、週2日までの在宅勤務が可能となり、仕事の内容やライフスタイルに応じた「働き方の選択肢」が広がりました。デジタルツールを用いて、「スケジュールの見える化」や、「コミュニケーションの促進」を行うとともに、モバイルPCの配備やオンラインストレージの活用など、テレワーク時にもオフィスと変わらない執務環境を整え、自由な働き方と生産性向上の両立を目指しています。

◀ 心身ともに充実して働くための制度

東宝では2019年1月より、有給休暇取得を促す制度「ゆうゆうProject」を始動しました。「有給休暇は、ただ休むということだけではなく、各人が有効に休暇を活用し、ココロをのびやかに(悠)、しなやかに(優)することで、次の仕事にもつながるもの」と考えています。そのための会社のアクションが、各人の有意義な時間の形成にしてほしいという思いでプロジェクトをスタートさせました。2020年以降もプロジェクトを継続しており、各部署の若手・ベテラン社員からそれぞれ選定されたリーダーの働きかけによって、取得を推奨しています。また、連休と組み合わせた東宝独自の取得推奨プランも用意しています。

◀ 育児との両立など多様な働き方の実現をサポート

東宝は育児による時短制度に加えて、コアタイムのないスーパーフレックスタイム制度を導入し、ライフスタイルに合わせた勤務制度づくりに取り組んでいます。

∞ VOICE ∞

育児明けでも以前と変わらず「宣伝プロデューサー」の職に戻して貰えたことが、とても嬉しかったです。また、通常1人で業務を担うところを、2人体制にしてくれるなど、仕事と育児を両立できる体制を整えて貰えてとてもありがたいです。息子が、私が担当していた「クレヨンしんちゃん」が大好きで、その様子を見ていると、より仕事を続けられていることに幸せに感じます。週2回程、在宅勤務も活用しています。夫が「育児も家事も夫婦一緒に行う」という意識があり、常にフォローしてくれるので助かっています。



映像本部 宣伝部 映画宣伝企画室
中西 藍さん 大竹 隆道さん
夫妻

∞ VOICE ∞

3歳になる息子がいますが、育児時短制度やスーパーフレックスタイム制度を活用しながら、映画のプロモーション全般の企画立案を行う「宣伝プロデューサー」の業務を夫婦共に行っています。妻と公開時期が重ならないよう担当作品を割り振って貰えたり、18:30以降はなるべく打合せを入れないようにするなど、上司・同僚とともにとっても理解があり、働きやすい環境だと感じています。

∞ VOICE ∞

私は2018年に一か月間の育児休職を取得しました。家族と相談して第二子の出産時に育児休職を取得することを決めていました。男性社員の取得は初めてだったようですが、スムーズに取得することができました。人事部や職場の方々の対応も大変ありがたく、安心して育児に専念することができました。子どもとの充実した時間を過ごす「家庭を大事にする」という最大の目的を果たしたのはもちろんのこと、「父親の目線」「子どもの目線」といった今までにはなかった視野の広がりを実感することができました。仕事に復帰した後もそうした視野は大変役に立っています。育児は人生と仕事、どちらにおいても素晴らしい財産となりました。社員の生活に寄り添った柔軟な制度、そしてその制度を活用しやすいあたたかい社風にはとても感謝しています。



男性初の
育児取得

(公財)ユニジャパン 出向
東京国際映画祭 プロモーショングループ グループマネージャー
菊地裕介さん



社員の健康をサポートする取り組み NEW

東宝は「健康経営」を目指して、2020年4月に施行された改正健康増進法・東京都受動喫煙防止条例に先駆け、2019年から従業員の健康維持増進を目的とした、「クリーン・エア プロジェクト」を実施しています。事業所内での受動喫煙を防止するため、社内の喫煙ルームを廃止するとともに、健康保険組合と連携し、喫煙者の禁煙サポートもおこなっています。2020年4月からは「就業時間中の全面禁煙」を全事業所で実施し、社員の「健康経営」への理解を深めています。

また2020年10月、社内会議室において、事前予約制でのインフルエンザ予防接種を実施しました。従来の診療所での実施に加えて、混雑緩和を目的とした試みとなっており、会議室内に「受付」「問診」「接種」の導線を設け、徹底的に「密」を避けた接種体制のもと、3日間で計約300人が接種を受けました。



メンタルヘルスケアやハラスメント対策

東宝では、社員の「こころの健康」にも目を配っており、健康保険組合の診療所で専門医による受診ができます。一定以上の長時間勤務が発生した場合には、医師による面談が実施され、職場へのフィードバックもおこなわれます。ハラスメント対策については相談窓口を設置するほか、研修を実施することで、社員が力を発揮しやすい職場環境の充実を図っています。



労使関係

東宝には、管理職以外の全員が加入するユニオン・ショップ制の労働組合があり、連合(日本労働組合総連合会)に加盟しています。会社と労働組合は、より良い職場環境をつくりあげようと、「働き方改革」をはじめとさまざまな課題に、ともに取り組んでいます。

インナーコミュニケーションの活性化

東宝らしい働き方を実現するためには、風通しの良い企業風土醸成も重要と考えています。64年続く社内報「宝苑」を年に6回刊行し、グループ全体の社員、イベント、トピックをさまざまなアングルから紹介しています。また、社内の有志で結成された部活動の運営に補助金を拠出するなど、インナーコミュニケーションの活性化を図り、より良い職場環境づくりに取り組んでいます。



▲ 社内報「宝苑」

社内ポータルサイト「Troom」の導入 NEW

従来の社内掲示板サイト IntrameriT に代わって、2020年8月より東宝の社内ポータルサイト『Troom』(ティールーム)が導入されました。従来の掲示板やライブラリの機能は継承しつつも、東宝で働く上での疑問や質問に対応したFAQコンテンツ等が追加されるなど、操作性をより直感的なものへと向上させました。今後もコンテンツや機能を増やすなど改善を続け、将来的には社内のさらなる相互コミュニケーションが実現される場を目指していきます。

多様な働き方を支援する主な制度

テレワーク制度	週2回を上限に、在宅勤務を認める制度。出社前後の在宅勤務も可能
勤怠管理システムの導入	時間管理の意識向上(勤務時間の見える化)
産業医の面談	一定以上の勤務時間の社員の健康管理
健康診断の受診率	毎年の健康診断の受診を積極的に働きかけており、昨年度の受診率はほぼ100%
積立休暇	未消化の年次有給休暇を1年度につき5日、最大40日まで積立て、社員や家族の病気療養、自己啓発やボランティア活動に利用可能
夏期休暇	年次有給休暇と別に、6月から10月に取得できる5日間の休暇を付与
スーパーフレックスタイム制度	業務の実態・職種の性格に合わせて、さらに柔軟な勤務を可能とするため、2020年10月から一部部門を除き、フレックスタイム制度のコアタイムを廃止
育児時短勤務	15分単位で1日2時間まで取得可能(子が満9歳で小学校3年終業まで)
介護時短勤務	15分単位で1日2時間まで取得可能(同一人に対し通算3年以内:分割取得可能)
育児休職	子が満2歳の誕生日が属する月の末日を限度に取得可能
育児休職中の自己啓発支援制度	育児休職中、会社が用意する自己啓発コースの受講費用を全額負担
介護休職	通算して1年以内取得可能(社会保険料負担分を介護補助金として支給)

育児休職取得者数と取得率

(各期末時点)	2017年	2018年	2019年
育児休職取得者数	9名	12名 ^{*1}	9名
女性社員の出産後の育児休職取得率 ^{*2}	90.0%	100.0%	100.0%

^{*1}…2018年 男性社員1名が育児休職を取得しました

^{*2}…女性社員の出産後の復職率は100%

CORPORATE GOVERNANCE

コーポレート・ガバナンス





取締役会の構成

(2020年11月1日現在)

役職	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島谷 能成	映像本部長 内部監査室直轄
取締役副社長	太古 伸幸	管理本部長 経営企画、総務、法務、情報システム各担当兼不動産経営管掌
常務取締役	市川 南	映像本部映画営業、同宣伝各担当
常務取締役	瀬田 一彦	不動産経営担当
常務取締役	松岡 宏泰	映像本部映画調整、同映画企画、同国際各担当
常務取締役	池田 篤郎	演劇担当
常務取締役	大田 圭二	映像本部映像事業、同音楽事業、同番組販売各担当
取締役	角 和夫	阪急阪神ホールディングス㈱代表取締役会長 グループCEO
取締役	池田 隆之	映像本部映画興行担当 TOHOシネマズ㈱代表取締役社長
取締役	加藤 陽則	管理本部人事、同経理財務各担当兼特定取締役
取締役	和田 薫一郎	不動産経営部長
取締役	本多 太郎	管理本部経営企画部長
取締役 (常勤監査等委員)	沖本 友保	監査等委員会委員長
独立社外取締役 (監査等委員)	小林 節	(株)パレスホテル代表取締役会長
独立社外取締役 (監査等委員)	安藤 知史	弁護士

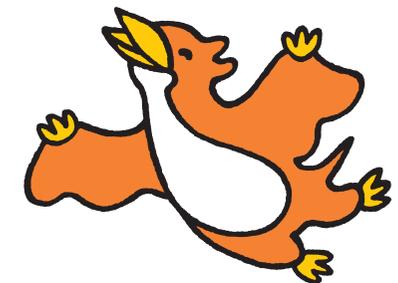
当社は、監査等委員会設置会社であり、取締役15名により構成されています。そのうち監査等委員である取締役は3名です。また、社外取締役は2名(うち独立社外取締役は2名)となっています。

取締役会によるガバナンス

当社の取締役会は、原則として毎月1回の定例取締役会を開催するほか、必要に応じて適宜開催しています。取締役会では、「取締役会規則」に基づき、経営方針、中期経営戦略に関わる事項や、重要性の高い意思決定について、社外取締役を含めた活発な議論をおこなっています。

当社は、執行役員制度を設けておらず、株主総会で株主様の付託を受けて選任された取締役が、各事業・業務の担当役員として責任を持って業務執行に当たることを基本方針としています。したがって、社内取締役はすべて、当社の主要事業またはコーポレート業務に関して専門的な知識、豊富な経験、高い職務執行能力を有し、現場を熟知した者で構成されています。取締役会は、それらの業務執行取締役が担当分野を過不足なくカバーできるよう、バランス良い配置に努めています。

上記の方針により、当社取締役会は、業務執行取締役によるオペレーションおよびマネジメント機能と、独立社外取締役が過半数を占める監査等委員会によるモニタリング機能のいずれにも偏らないハイブリッド型の取締役会として、効率性とバランスを重視した独自のコーポレート・ガバナンス体制を追求してまいります。





新しい役員報酬制度の導入

当社は、コーポレート・ガバナンスのさらなる向上を図るために2020年4月14日開催の取締役会において役員報酬制度を見直し、報酬額の改定や譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議しました。2020年5月28日開催の第131回定時株主総会において、新たな役員報酬制度が承認されました。

● 取締役報酬制度改定の目的と概要

当社は、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）のうち業務執行取締役に対して、①短期業績を達成することへの責任をより明確にすること、②当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、新たな役員報酬制度を導入しました。

①「譲渡制限付株式報酬制度」の導入

企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主様と一層の価値共有を進めることを目的とする。

②「業績達成賞与」の導入

単年度の業績目標を達成することへのインセンティブを目的とする。

報酬体系のイメージ

基本報酬 (金銭)

役位・個人業績を加味した
「報酬テーブル」により
毎年度決定

+

① 株式報酬 (譲渡制限付株式)

役位に応じ毎年度、
一定金額相当の株式を付与
(退任時に譲渡制限解除)

+

② 業績達成賞与 (金銭)

単年度業績に応じ
基本報酬月額0~200%
の範囲で支給
(業績達成時のみの支給)

※上記のイメージは、各報酬の割合を示すものではありません。
※非業務執行取締役は、株式報酬及び業績達成賞与の対象外です。

● 取締役の報酬を決定するに当たっての方針と手続等

取締役報酬につきましては、株主総会で決議された枠内において、その役位・職責に相応しい報酬水準を確保するとともに、当社グループの企業価値及び業績の向上に対する適切なインセンティブを付与することを基本方針とします。その手続としては、代表取締役が原案を作成し、代表取締役と独立社外取締役とで構成されるガバナンス委員会において審議を行います。取締役会は、ガバナンス委員会における審議内容を踏まえ、株主総会で決議された報酬枠の範囲内で報酬額を決定いたします。また、社外取締役を含む監査等委員である取締役の報酬については、株主総会で決議された報酬枠の範囲内で、監査等委員会の決議により決定するものとします。

今年度の役員報酬について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年2月期の業績見通しが極めて不透明であることを真摯に受け止め、今後一層のコスト削減が必要であるとの認識から、2020年5月28日開催の取締役会において、新たに導入された株式報酬および業績達成賞与のインセンティブ報酬の今年度の支給を見合わせるとともに、以下の通り、業務執行取締役の基本報酬について減額する旨の決定をいたしました。

・報酬減額の内容

代表取締役社長 月額報酬の20%を減額

その他の取締役 月額報酬の10%を減額

・対象期間

2020年6月から2021年5月まで(1年間)

※なお、常勤の監査等委員である取締役の月額報酬も10% (1年間)減額します。

監査等委員会

当社の監査等委員会は、監査等委員である取締役3名(うち独立社外取締役2名)で構成されています。監査等委員会は、取締役の職務の執行を適切に監督・監査するとともに、独立社外取締役によるモニタリング機能を多面的に活用することで、取締役会のガバナンス全般の透明性・公正性の確保に寄与しています。



リスクマネジメント体制

グループ全体のリスク管理体制を整備するため、「リスクマネジメント基本規程」を定め、代表取締役社長を議長とする「リスクマネジメント会議」を設置しています。「リスクマネジメント会議」は事務局を総務部に置き、当社グループのリスクマネジメントに関する方針と体制を決定するとともに、リスク発生時の連絡・報告体制、危機管理体制を構築しています。

「リスクマネジメント会議」は年2回開催され、東宝グループにおいて発生したリスク事象の検証や発生が想定されるリスク予防策の検討、他社事例の共有などをおこなっています。また、毎年グループ内で想定される重要なリスクをテーマとして、各事業所における対応状況などを調査し、内部監査室による評価・指導を行うなど、組織的なリスクマネジメントの観点から、グループ全体でのPDCAサイクルを回しています。

また、本社各部門・各グループ会社それぞれに「リスク担当者」を置き、「リスク担当者会議」を年6回開催して、リスクマネジメントに関する方針の周知・徹底を図っています。

● グループ会社を対象にした年間リスク評価テーマ

2017年	防火管理体制
2018年	著作物に関する管理体制
2019年	役員・従業員による不正防止対策
2020年	新型コロナウイルス感染症対策

● リスク対策として実施した主な研修

2017年	標的型メール攻撃の訓練
2017年	e-ラーニングによる情報セキュリティ教育
2018,2019年	テロ対策訓練
2020年	新型コロナウイルス感染症対策／SNS炎上対応

コンプライアンス委員会

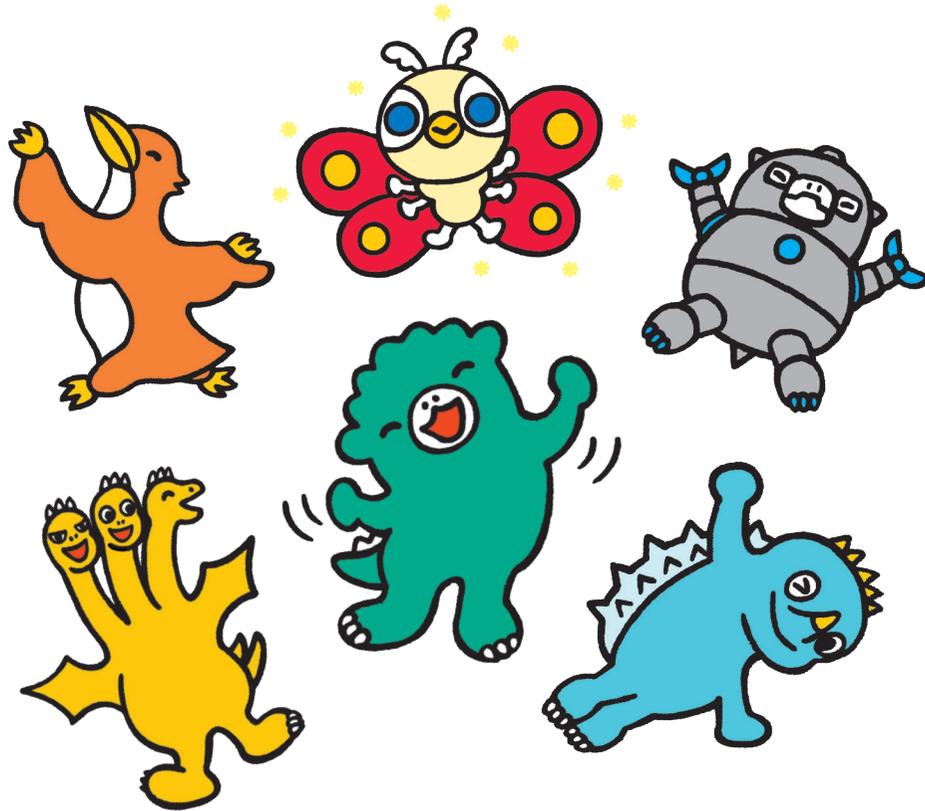
グループ全体のコンプライアンス体制を整備するため、「リスクマネジメント基本規程」に基づき、「コンプライアンス委員会」を設置しています。当委員会は、事務局を法務部に置き、法令遵守と企業倫理の周知に関する事項、通報・相談に対する調査および処置に関する事項をおこなっています。委員会の議事内容は、「リスクマネジメント会議」を通じて、取締役会に報告しています。

内部統制委員会

グループ全体の財務報告に係る内部統制体制構築のため、「リスクマネジメント基本規程」に基づき、「内部統制委員会」を設置しています。当委員会は事務局を内部監査室に置き、財務報告に係るリスクの情報収集とその対応策、内部統制システムの構築推進および運用に関する事項をおこなっています。委員会の議事内容は、「リスクマネジメント会議」を通じて、取締役会に報告しています。

グループガバナンスの強化

東宝グループは、子会社46社（うち連結子会社34社。2020年2月28日現在）から構成される企業集団です。これらグループとしてのガバナンス向上を図るため、「グループ経営管理規程」を定め、グループ全体の経営方針・戦略に従って、業績の拡大、効率性の追求、グループ全体の企業価値向上を図るべく、本社と子会社の意思決定における権限区分を明確にするなど、経営管理の基本的なルールを整備しています。



報告対象組織 東宝グループ(東宝株式会社および主要な子会社)を対象範囲としています。対象範囲が異なる場合は個別に対象範囲を記載しています。

報告書発行時期 2020年11月

©TOHO CO., LTD. All Rights Reserved. TM&©TOHO CO., LTD.